

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月22日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970101212
法人名	有限会社 タオ
事業所名	グループホーム 針木 虹の里
所在地	〒780-8086 高知県高知市針木東町7-32
自己評価作成日	平成22年1月18日
評価結果市町村受理日	平成22年8月17日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970101212&amp;SCD=320">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3970101212&amp;SCD=320</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ホームでは、「安心できる場所を造る」「出来ること、したいことを大切にすること」「嬉しいこと、悲しいことを共に分かち合う」「健やかな日々を大切にすること」「地域とのつながりを大切にすること」を運営の方針とし、職員は「利用者一人ひとりの想いと共に生きる」とする理念の実現に向けて、身体レベルの低下がみられる方が増えているなか、出来るだけ個別ケアを目標に取り組んでいます。また、職員の待遇改善に取り組み、個々の介護技術・知識・質の向上に注力していきます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所内の風通しが良く、コミュニケーションも良くとれている。ケアにおける気づきは職員間で話し合わせ、運営面についての要望も気軽に提案できることが、職員の取り組む姿勢や熱意となって表れ、利用者には快適に明るい暮らしの場の提供に繋がっている。開設7年目を迎え、種々の援助場面で自立している利用者が多く、特に排泄の自立支援の取り組みに工夫と熱意を感じる。家族の苦情、要望についても、その対応策を掲示するなど、開かれた事業所の運営に工夫している。また、評価結果の改善事項についても期間を設定し計画的に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が「その人らしさ」とは何かを真剣に考え、より実践的な理念を作成し、いつでも見える位置に掲げ、名札の裏にも印刷し意識して実践している。	職員全員で意見を出し合って理念を作成している。日常的に理念について振り返り、母体法人との医療連携や家族との支え合いのもと、利用者が心身共に健やかに暮らせるよう支援している。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩時やごみ処理時に地域住民との挨拶に心がけている。事業所の催し物に案内したり、地域の催し物に積極的に参加するなど、地域との交流に取り組んでいる。	自治会に加入し、地域の祭事や催し物、清掃活動に参加している。地域住民に事業所の行事へ参加してもらったり、散歩や買い物時の挨拶や会話を通じて、日常的に交流している。また、こども会との交流も行っている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの催し物に地域住民の方をお誘いしたり、地域の会合に参加し説明するなど、ホームを理解していただくよう取り組んでいる。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、町内会長、家族の代表、地域包括支援センター職員を交え、2カ月に1回運営推進会議を開催し、評価結果内容についても報告し、意見、助言を頂き、改善に向けて取り組んでいる。	事業所の運営状況の報告に対し、参加委員から活発な意見や要望が出され、双方向的に進められている。前回の評価結果についても報告し、課題についての意見やアドバイスに基づき、改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p><b>○市町村との連携</b></p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>事業の運営に当たって、市町村に相談し、指導を仰いでいる。2カ月毎の西部地区のグループホーム連絡会では、地域包括支援センターの職員を交え意見交換を行っている。</p>	<p>サービスの提供に関して、市の担当課に相談しアドバイスを受けている。地域包括支援センターとは折に触れ、事業所の実情について相談したり、助言を得るなど、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月、身体拘束・虐待防止委員会の委員から、マニュアルの説明や個別事例の検討など、適切なアドバイス等を受けて、全職員に身体拘束についての意識付けを徹底している。</p>	<p>外出傾向のある利用者を把握し、行動を予知しながら見守り支援に取り組んでいる。身体拘束について学ぶ機会を多く持ち、職員の理解を深め、拘束のないケアに取り組んでいる。リスクについて、入居時やケアプラン作成時に家族に説明し、困難事例について、市町村の担当者に相談するなど、常に問題意識を持って臨んでいる。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束・虐待防止委員会を毎月開催し、マニュアルの見直しを行い、虐待を防ぐ取り組みを行っている。虐待ではと思われる行為を発見した時は互いに声を掛け合う等、意識の統一を図っている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修の機会が少なく、全ての職員が制度を把握できていないが、現在は活用事例はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には契約書、重要事項説明書、個人情報について説明し、また改定時や退居時には十分話し合い、理解を得るように努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階エレベーター前や各ユニット入口に、無記名で苦情、要望等を自由に記入して頂けるよう意見箱を設置している。また、家族会開催時には家族のみで意見交換ができる場を設け、面会時やケアプラン作成時等にも意見を伺うなど、話しやすい雰囲気づくりに努め、出された意見に対しては、職員で話し合い対応している。対応の状況については掲示し公表している。	家族会を開催し、家族だけで話し合う場を設けている。ユニット間の職員の配置替えについて要望があるなど、利用者や家族が気軽に意見や要望を出せる雰囲気づくりに努めている。また、意見箱の投書には事業所の対応を添えて掲示している。	
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のユニット会や職員会、申し送り時に意見を出してもらい、その意見に対して管理者会にて施設長、社長を交え検討している。職員個々についても施設長、社長との個別面談にて意見、要望、提案を伝える機会を設けている。	意見、要望はスタッフで話し合い、管理者に伝えている。職員の異動や待遇面についても提言し改善されている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の仕事に対する意欲の向上を図るとともに、ケアの質の向上を図るため、現在の常勤職員全員を正職員にするように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	無資格職員に対するホームヘルパー養成研修2級課程受講のサポート、新任者には入社後の資格取得や研修等の説明、勤務時間内での研修、外部研修等の情報提供と希望者の募集など、職員のステージに応じた育成に努めている。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2カ月毎に西部地区のグループホームが集まり、意見交換を行い、相互の見学や研修なども検討している。また、毎年7月、8月には「よさこいくじら連福祉丸」のメンバーに加わり、県内の福祉施設を訪問しネットワークづくりを行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や面接時、入居打ち合わせ時にご本人を交えゆっくり、話しを伺うように努めている。入居当初はできるだけ職員との関係づくりに配慮している。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学や面接時、入居打ち合わせ時に不安点や疑問点など、ゆっくり伺い、信頼関係を築くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族の意向を伺うとともに居宅介護支援事業所等の情報提供を受け、サービスの方針を決め対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>生活歴の情報を共有し、得意な事や趣味等、個々のできる事を役割として発揮してもらうよう支援している。また、互いに教えあい、支え合い居心地良く過ごせるように努めている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や家族会、ケアプラン作成時に生活の様子を報告し、家族の要望等を伺い、共に支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>利用者の自宅周辺に行ったり、家族の協力で馴染みの美容院やレストランなどに出かけている。また、遠方の親戚や知人からの郵便物や贈り物を取り継いだり、訪問を受けるなど、馴染みの関係が継続されるよう支援している。</p>	<p>知人、友人の訪問や利用者自身の自宅訪問、行きつけの美容院に出かけるなど、馴染みの関係継続を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者の性格やできる事できない事を見極めながら、共同作業等に係れるように配慮している。また、必要に応じて席替えを行い、良好な関係が築けるように配慮している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も、いつでも相談を受ける旨伝え、様子伺いのための訪問をしている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>直接本人に聞いたり、日頃の何気ない表情や発言から本人の思いが何処にあるのか検討している。また、家族から情報を頂き職員間で共有している。</p>	<p>日常会話の中で利用者の意思表示を受けとめたり、職員が場面づくりの働きかけをするなどして、意向の把握に努めている。意向の把握が困難な場合は家族から情報も得て、職員会で検討し、家族とも相談し対応するなど、本人の思いを大切にしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族からの情報収集や本人の発言から、以前のライフスタイルの把握に努めている。面会時に家族から少しずつ得た情報も随時追加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>24時間シートの活用により一人ひとりの状態の把握に努めている。処遇記録に日々の様子や言動等を記録し情報を共有している。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>朝の申し送り時等で随時気づきを共有し、月に1度、モニタリングを行い、ケアプランに反映するようにしている。また、可能な限り、本人、家族にカンファレンスに参加してもらっている。</p>	<p>利用者、家族の意向や要望を踏まえ、職員同士でアセスメントやカンファレンスを実施し介護計画を作成している。長期6カ月のプランを作成し、3カ月毎に見直し、毎月モニタリングを実施している。また退院時や状態によっては随時の見直しや、個別の期間設定をしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに即した記録を明確にするとともに、新たな気づきなどは申し送り時に共有している。改善事項やケアプランの見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の事情で受診に行けない時はホームで対応している。また、デイサービスの利用者との交流を図っている。(いも煮会・催し物)</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署による防火訓練の指導を受けたり、出張理容や地域の美容院、スーパーマーケットを利用するなど、地域での暮らしを支援している。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望するかかりつけ医への受診を基本とし、緊急時には協力医療機関の医師の指示を得るなど、連携している。	利用者、家族の希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。通院介助は基本的に家族の対応としている。緊急時や専門医への受診は、家族と連携しながら事業所に対応している。受診結果については、家族から報告を受けたり、事業所対応の結果も家族に報告するなど、双方で共有している。	
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に日々の状態を報告するとともに、健康管理表を活用しアドバイスや指示を受けながら、健康管理や医療連携を図っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には日頃の様子など情報を提供し、面会時には状態を聞き、意見交換をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化等の指針について説明し、同意をもらっている。利用者の状況に応じて、主治医や看護師の助言等をもらい、家族と十分話し合い、事業所で対応できる限りの支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や看取り介護の指針を入居時に説明している。これまで重篤な状態を迎えた利用者の経過に応じ、家族や医療機関と話し合いながら対応するなど支援ができています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年、消防署の協力で救急救命訓練を実施し、心臓マッサージ、AEDの使い方や応急処置等の講習を受けている。急変時や事故発生時のマニュアルに沿って、シミュレーションも行っている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を年2回実施し、避難経路の確認や手順の確認を行っている。運営推進会議で訓練参加と協力依頼をしている。</p>	<p>防災訓練は災害対策マニュアルに沿って実施している。その際自治会長を通じて地域に呼びかけ、これまでに2～3人の地域の方の参加があった。非常用食料は準備している。</p>	<p>災害時には、地域住民の協力を得ることが不可欠であり、地域住民の事業所への理解を広め、実践的な訓練に取り組まれるよう期待したい。</p>
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>身体拘束・虐待防止委員会を中心に言葉使いや対応の仕方について話し合い、職員への注意喚起や自己評価等に取り組んでいる。守秘義務、個人情報の保護についても勉強会を開催し徹底するとともに、言葉使いや対応については、その都度互いに注意しあうようにしている。</p>	<p>介護の場面で気になる事は、管理者がその都度注意したり、スタッフ間で話し合っている。利用者の情報に配慮し、職員会で守秘義務について話し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何でも言える環境や対応の仕方を工夫し、本人の思いや希望に出来るだけ応えるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースを大切にし、遅い時間の朝食の対応や毎日外出したい方には散歩や買い物など、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時には髪をといたり髭を剃ったり、服装も毎日同じ衣類を着用しないように本人に相談しながら一緒に選んでいる。出張理容や近所の美容院を利用したり、行きつけの美容院へ家族と行くなどしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の能力に応じて、食事の準備から片づけまで、出来ることの役割を担って、職員と一緒に和やかに取り組んでいる。	利用者は、食材の買い物、下ごしらえ、味付け、配膳、食器洗いなど出来ることを一緒にしている。職員も同じものを一緒に楽しい雰囲気の中で食べている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の食事量、水分量をチェックし、水分の摂りにくい方や嫌がる方には居室にお持ちしたり、時間を変えたり内容を替えるなど、工夫している。毎月体重測定を行い、年3回管理栄養士の指導も得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを習慣化しており、必要に応じ介助している。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	十分な水分摂取や日々の記録、24時間シートを活用し排泄パターンを把握し、一人ひとりの状況に合わせたトイレ誘導等により支援をしている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄するよう声かけしている。現在、利用者の半数は布パンツを使用している。紙パンツやパットを使用している場合も、利用者の状況に応じ、個別対応するなど、排泄の自立支援に繋げている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時の牛乳や、朝食にヨーグルトを提供したり、午前中には体操や歩行運動をするなど、便秘予防に取り組んでいる。高度便秘のある方には医師、看護師の指示を受け支援している。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	現在、2日に1度は入浴できるよう支援している。希望があれば柔軟に対応し、時間帯については可能な限り希望を取り入れている。	毎日、利用者の希望に沿って入浴できるよう対応している。夜間、足浴の希望があれば柔軟に支援している。入浴を拒む利用者には、時間やスタッフを替え、声かけするなど、個々に応じて支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	自由に休息できるようにしてい る。体調不良の場合は、看護師と相 談し、休むよう本人に確認してい る。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	薬管理担当者を決め、誤薬事故を 起こさないように管理している。処 方薬の内容を把握するとともに、内 容の変更時には申し送り日誌への記 録を徹底している。また、健康管理 表や処遇記録に症状の変化等につい て記録し、次回受診時に医師に報告 している。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	家族から趣味や楽しみ、得意なこ となど聞き、本人に声かけしながら 支援している。		
49	18	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	可能な限り散歩や買い物ドライブ に出かけている。家族の協力も得 て、面会時や受診時等を利用し食事 やドライブに行っている。	季節の状況に応じながら、散歩 は毎日行うよう配慮している。食 材の買物や外気浴など希望に沿っ て戸外に出る機会を作っている。 また、2カ月に1回は希望に応じ てドライブに出かけるなど外出支 援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	自己管理が可能な利用者は、買い物時に自分で支払うなど支援している。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	電話をかけたい希望があれば、柔軟に支援している。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節感が出るように1カ月に1度ぐらいの割合で玄関、ホール内のディスプレイを変更したり、入居者全員で作成した作品を展示している。閉塞感を感じないようにソファの場所によって雰囲気を変えている。	共用スペースは広々として、利用者の作品や近隣の方が持参した作品が展示されている。玄関や居間、食堂には梅など季節の花が活けられ、フロアの畳の間には、雛まつりの壇飾りや和服が掛けられ、利用者の目を愉ませる工夫が窺えた。また、少人数で話の出来るスペースを確保するなど、居心地よく過ごせるよう配慮している。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	一人でゆっくり過ごせる場所にソファを置いたり、日当たりのよい場所にベンチを置くなど、利用者がそれぞれお気に入りの居場所づくりに工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れたものを持って来て頂くよう家族に依頼している。(テーブル・椅子・本・仏壇・化粧品・その他)</p>	<p>利用者に馴染みのある、籐の椅子やテーブル、ベットなどを持ち込み、アルバムや書籍を並べたり、趣味の写真、書道作品を飾るなど、家族の協力を得ながら住まいづくりを工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>テーブルや椅子、家具は何処の家にもあるような物を置いてあり、使いやすく、また、家庭的な雰囲気を心がけている。台所やトイレ、ベランダにおいても使いやすく、分かりやすく過ごしやすいように配慮している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： ( 1丁目 )	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない



項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	本人本位、地域との交流を基本に理念を作成し、日々理念を意識して入居者の思いに沿えるように取り組んでいる。		
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の運動会、夏祭り、一斉清掃に参加している。併設のデイサービスセンターで月2回、地域黒潮会（カラオケ・コーラス）を開催したり、ホームでも週に2回（第2，4水曜日）近所の方と利用者も一緒にカラオケを楽しむなど交流している。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ホームの催し物について、回覧板でお知らせしたり、地区の会合に参加して今後も理解を深め頂けるように取り組んでいる。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1回、運営推進委員会を開催し、自治会・民生委員・町内会会長等の地域代表者の参加をいただき、取り組み等の報告をしている。また、評価結果についても報告し、多くの意見や助言を頂き改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>事業の運営について、日ごろから市町村に質問や相談を行い、指導を仰いでいる。また、2カ月に1回、西部地区のグループホーム連絡会に参加し、地域包括支援センターの職員を交え意見交換を行っている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月、身体拘束・虐待防止委員会の委員から、マニュアルの説明や個別事例の検討など、適切なアドバイス等を受けて、全職員に身体拘束についての意識付け、「身体拘束ゼロ」を周知徹底している。また、身体拘束に関する事務処理について勉強会も行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修会、講習会にも積極的に参加し、虐待防止について学習し、関連法の理解と危険性の早期発見に努め、虐待防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、対象者はいないが、講習会、研修会に参加し、理解を深めていきたい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に、重要事項説明書等についてご家族に説明している。また、改定時、解約時にも十分に説明し、納得して頂けるように努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階エレベーター前や各ユニット入口に、無記名で苦情、要望等を自由に記入して頂けるよう意見箱を設置している。また、家族会開催時には家族のみで意見交換ができる場を設け、面会時やケアプラン作成時等にも意見を伺うなど、話しやすい雰囲気づくりに努め、出された意見等は謙虚に受け止め、対応策については掲示している。		
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会、職員会等で職員と意見交換できている。個々の意見について管理者会に諮り、社長、施設長との個別面談にて意見、相談等できる機会もあり、自由に発言出来る仕組みがある。		
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の雇用条件等の見直しを行い、職員の仕事に対する意欲向上を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任職員研修や、経験職員共に計画的に各講習・研修会に参加してもらい、互いのスキルアップに取り組んでいる。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	西部地区のグループホームの会に参加し、意見交換等を行っている。毎年、「よさこい・鯨連」の鳴子踊りに参加して県内の施設を訪問し、関係を築いている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面接時や入居時に、ご本人の話を良く聞き、困っていることや本人の思いなどを把握し、不安を解消して信頼関係を築いている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の話を良く聞き、困っていること、援助の大変さ、体験や思いを理解し、関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族が、今どのような支援を望んでいるのか把握し、ホームで対応出来ることを説明している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日常生活をして行く上で、本人らしく生活出来る場所を提供して、お互いが協力しあい、また、職員も経験豊富な高齢者に教えてもらいながら、一緒に楽しく穏やかに生活していくように努めている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>利用者の日常生活の様子を家族に報告し、本人の思いや希望等を共有して、共に支え合っていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人との日常の会話で知り得たことや、家族からの情報も得て、馴染みの場所にドライブに行ったり、自宅を訪問するなど、これまでの生活との関係を保つように努めている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>各作業を通じて利用者同士の関係づくりをしており、他の入所者の手を拭いてあげたり、声かけするなど、お互いに思いやる姿勢が見られる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も、訪問したり電話で状態を聞くなど、これまでと変わらず、必要に応じた関係を継続するように努めている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話の中で本人の思いを察知したり、家族からの情報を聞くなど把握に努めている。困難な場合は職員間で検討し、家族ともじっくりと話し合い、サービス計画表を作るようにしている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時の情報に加え、日々の会話の中で把握し、職員間でも情報の共有に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者の体調を考慮しながら、買い物、作業、家事など、個々の出来ることを見極め、悲しみや楽しみ、喜びを見落とすことのないように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のモニタリングと3カ月毎の見直し、6か月毎の変更等の話し合いなど、本人、家族の意向等や主治医、看護師の意見を参考にサービス提供の見直しを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の記録は、事実や気づきを具体的に記入し、職員間で情報共有して日々のケアの取り組んでいる。また、処遇記録を元にモニタリングを行いサービス内容を見直している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者、家族のニーズには柔軟な姿勢で臨み、その都度話し合い、要望や想いに速やかに対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域での一斉清掃、運動会、敬老会等の参加、買い物、近隣の美容室に行くことを、利用者も楽しみにしており、地域資源を把握して豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に希望するかかりつけ医を聞き、安心して医療が受けられるようにしている。緊急時には協力医療機関の医師より指示を得て、受診、往診等の支援をしている。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の状態に変化等があれば、健康管理表に記入、看護師に相談して適切な指示等を受け、健康管理と医療連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には日常生活の情報を提供して、面会時には本人の状態を伺い、早期退院に向けて情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化等の指針について説明し、同意をもらっている。利用者の状況に応じて、主治医や看護師の助言等をもらい、家族と十分話し合い、事業所で対応できる限りの支援に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導で、応急措置の講習を受けている。ユニット毎の委員を中心に、マニュアルに沿ったシミュレーションを行い、事故発生に備えて実践力を見につるよう取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練を行い、避難場所の確認や、地域の方々の協力体制も不可欠であり運営推進委員会を通じて地域の協力をお願いし、訓練への参加を働きかけている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>身体拘束、虐待防止委員会を中心に言葉使いや対応の仕方をアンケートによる自己評価を行い、外部の研修会や講習会に参加し、プライバシーの尊重について職員間で話し合い、問題と思われる事項についてはその都度注意している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>常に利用者の想いを聞ける状況を作り、自己決定が出来るよう支援し、出来るだけ想いに沿うよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>自己決定できる利用者は、自由に自分のペースで生活を送っている。自己決定できない利用者には、職員が声かけし、相談したり、希望を聞くなど、体調も確認しながら本人の思いに沿って支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>自分でお化粧したり、近所の美容室に行くほか、衣類も選んでいる利用者もいる。利用者の状況に応じて職員がさりげなく介助したり、訪問美容を利用するなど、個々に応じて支援している。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>個々の活動力に合わせて職員と一緒に、買い物や食材の準備、盛り付け、配膳、片付け、食器拭き、テーブル拭きなどを行っている。また、食事も職員と会話をしながら一緒に食べており、その中で食べたい物など聞いている。</p>		
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事（1,300～1,500 kcal）水分（1300～1500 cc）の摂取目標をたて、医師、看護師に相談したり、年3回、管理栄養士の指導を受けながら支援している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>1日に5回の口腔ケアを実施している。自分で出来ない方は援助して清潔を保つようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、個々に合わせて時間誘導や環境も整え、失敗を少なくして気持ち良く過ごして頂くように取り組んでいる。		
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状態も個々に把握し、食事の工夫や体調に合わせた運動を実施するなど、便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日等（週3回、曜日等）を決めているが、本人の希望や思いに柔軟に対応し、いつでも入浴できるようにしている。入浴の拒否のある利用者には、声かけ等の工夫をするなどして支援している。		
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に休息できるようにしている。体調不良の場合は、看護師と相談し、休むよう本人に確認している。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬の担当を決め、常に内服の内容や変化に注意している。日誌や健康管理表、申し送り帳にも記入し職員同士の確認も行い、状態変化についても処遇記録に記入し、医師や看護師に報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	利用者一人ひとりの能力や楽しみごとなど、本人に合った役割や楽しみを見つけ支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	体力的なことにも配慮し、本人の希望に沿って外出するよう支援している。季節に応じて全員でドライブしたり、個々に自宅訪問などしている。また、家族の協力もお願いしている。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	入所者の中には自分で買い物に行ったりしている利用者もいる。利用者の状況に応じ、職員が同行して一緒に買い物に出かけ、支払いの支援をしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	電話の希望がある場合は、自分でかけられるよう支援している。また、手紙を書く利用者もおり、ポストへの投函も支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が作った季節に応じた作品の展示をしたり、ベランダに花を植えたりして季節感を出している。掃除やモップかけなど、環境整備も出来ることは一緒に行うなど、より良い環境で過ごせるよう取り組んでいる。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>所々に椅子を置いて好きな所で、仲良く日向ぼっこをしながら居眠りをしたり、会話を楽しむことができるよう配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の使い慣れた物や馴染みの物を持ってきて頂き、居心地よく過ごせるようにしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人が安心できるよう、環境整備を整え、利用者自身で何が危険なのか理解でき、安心して生活できるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： ( 2丁目 )	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p><b>○理念の共有と実践</b></p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	職員で話し合っ事業所独自の理念を作成し、フロアーに掲示し、名札の裏にも印刷し、申し送り時に確認し合うなど、意識づけしている。		
2	2	<p><b>○事業所と地域とのつきあい</b></p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	散歩時やごみ処理時に地域住民との挨拶に心がけている。また、年間の行事（敬老会、作品展、納涼祭等）へお誘いしたり、地域の運動会、夏祭り、一斉清掃に入居者も一緒に参加している。		
3		<p><b>○事業所の力を活かした地域貢献</b></p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	ホームの催し物に地域住民の方をお誘いしたり、地域の会合に参加し説明するなど、ホームを理解していただくよう取り組んでいる。		
4	3	<p><b>○運営推進会議を活かした取組み</b></p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	民生委員、町内会長、家族の代表、地域包括支援センター職員を交え、2カ月に1回運営推進会議を開催し、評価結果内容についても報告し、意見、助言を頂き、改善に向け取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>事業の運営に当たって、市町村に相談し、指導を仰いでいる。2カ月毎の西部地区のグループホーム連絡会では、地域包括支援センターの職員を交え意見交換を行っている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月、身体拘束・虐待防止委員会の委員から、マニュアルの説明や個別事例の検討など、適切なアドバイス等を受けて、全職員に身体拘束についての意識付けを徹底し、疑問がある時は、そのままにせず話し合い、協議するようにしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>身体拘束・虐待防止委員会を毎月開催し、マニュアルの見直しを行い、虐待を防ぐ取り組みを行っている。虐待ではと思われる行為を発見した時は互いに声を掛け合う等、意識の統一を図っている。入居者の職員に対する虐待と思われる行為についても今後、ケアの内容等検討していきたい</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修の機会が少なく、全ての職員が制度を把握できていないが、現在は活用事例はない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時には契約書、重要事項説明書、個人情報について説明し、また改定時や退居時には十分話し合い、理解を得るように努めている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階エレベーター前や各ユニット入口に、無記名で苦情、要望等を自由に記入して頂けるよう意見箱を設置している。また、家族会開催時には家族のみで意見交換ができる場を設け、面会時やケアプラン作成時等にも意見を伺うなど、話しやすい雰囲気づくりに努め、出された意見に対しては、職員で話し合い対応している。対応の状況については掲示し公表している。		
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のユニット会や職員会、申し送り時に意見を出してもらい、その意見に対して管理者会にて施設長、社長を交え検討している。職員個々についても施設長、社長との個別面談にて意見、要望、提案を伝える機会を設けている。		
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の仕事に対する意欲の向上を図るとともに、ケアの質の向上を図るため、現在の常勤職員全員を正職員にするように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p><b>○職員を育てる取組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>無資格職員に対するホームヘルパー養成研修2級課程受講のサポート、新任者には入社後の資格取得や研修等の説明、勤務時間内での研修、外部研修等の情報提供と希望者の募集など、職員のステージに応じた育成に努めている。</p>		
14		<p><b>○同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>2カ月毎に西部地区のグループホームが集まり、意見交換を行い、相互の見学や研修なども検討している。また、毎年7月、8月には「よさこいくじら連福祉丸」のメンバーに加わり、県内の福祉施設を訪問しネットワークづくりを行っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p><b>○初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>見学や面接時、入居打ち合わせ時にご本人を交えゆっくり、話しを伺うように努めている。</p>		
16		<p><b>○初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>見学や面接時、入居打ち合わせ時に不安点や疑問点など、ゆっくり伺い、信頼関係を築くように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人、ご家族の意向を伺うとともに居宅介護支援事業所等の情報提供を受け、サービスの方針を決め対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に生きる理念を念頭に置き、日々の生活の中で教え合い、また、支え合い、お互いに居心地良く過ごせるように努めている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や家族会、ケアプラン作成時に生活の様子を報告し、家族の要望等を伺い、共に支えていく関係を築いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人、家族から、よく行っていた馴染みの場所等を聞き、買物やドライブ等に行っている。家族の協力を得て支援する場合もある。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者の性格やできる事できない事を見極めながら、共同作業等に係れるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も、いつでも相談を受ける旨伝え、様子伺いのための訪問をしている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の思いや意見を大切にし、自然と言葉が出てくるような雰囲気をつくり、家族から情報を得て把握している。困難な場合は、日々の生活の様子を職員間で共有し、家族とも話し合い協議している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人、家族からできるだけ解る範囲で伺い、また、本人の会話のなかから情報を把握し、職員間で共有している。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>会話したり、歌を歌ったり、散歩や買い物、手作業、家事など、生活を共にしながら、利用者の得意なこと、楽しみ、喜び、身体状況、精神状況など、総合的に見極め把握している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意向も聞き、職員の意見や主治医、看護師の意見も参考にし、職員で話し合い、ケアプランを作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>援助内容の実践の記録や様子等を個別の処遇記録に記入し、職員間で共有し実践している。また、記録を元に毎月モニタリングを行い、ケアプランの見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族の事情で受診に行けない時はホームで対応している。また、デイサービスの利用者との交流を図っている。(いも煮会・催し物)</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>消防署による防火訓練の指導を受けたり、出張理容や地域の美容院、スーパーマーケットを利用するなど、地域での暮らしを支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望するかかりつけ医への受診を基本とし、緊急時には協力医療機関の医師の指示を得るなど、連携している。</p>		
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に日々の状態を報告するとともに、健康管理表を活用しアドバイスや指示を受けながら、健康管理や医療連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時には日頃の様子など情報を提供し、面会時には状態を聞き、意見交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化等の指針について説明し、同意をもらっている。利用者の状況に応じて、主治医や看護師の助言等をもらい、家族と十分話し合い、事業所で対応できる限りの支援に取り組んでいる。</p>		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、消防署の協力で救急救命訓練を実施し、心臓マッサージ、AEDの使い方や応急処置等の講習を受けている。急変時や事故発生時のマニュアルに沿って、シミュレーションも行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年2回実施し、避難経路の確認や手順の確認を行っている。運営推進会議で訓練参加と協力依頼をしている。		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<b>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	身体拘束・虐待防止委員会を中心に言葉使いや対応の仕方について話し合い、職員への注意喚起や自己評価等に取り組んでいる。守秘義務、個人情報の保護についても勉強会を開催し徹底するとともに、言葉使いや対応については、その都度互いに注意しあうようにしている。		
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何でも言える環境や対応の仕方を工夫し、本人の思いや希望に出来るだけ応えるようにしている。		
38		<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々に1日の生活のリズムがあり、自己決定できる利用者は自由に生活している。自己決定できない利用者には、職員が声かけし、相談したり、希望を聞きながら、生活リズムを整えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		<b>○身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時には髪をといたり髭を剃ったり、服装も毎日同じ衣類を着用しないように本人に相談しながら一緒に選んでいる。出張理容や近所の美容院を利用したり、行きつけの美容院へ家族と行くなどしている。		
40	15	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を聞いたり、旬の物を取り入れるとともに、その日その日の利用者の様子を見極め、野菜切り、盛り付け、テーブル拭き、食器洗い、食器拭き等に声をかけ一緒に行っている。食事は職員も一緒に食べている。		
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の栄養状態、摂取状況、体重増減についてかかりつけ医、看護師、職員間で共有し、調理方法や盛り付けなど、個々に応じて工夫している。年3回管理栄養士の指導も得ている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施し、必要に応じ介助している。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々に合わせたタイミングでトイレへの声かけや誘導を行うなど、支援している。自室トイレ内にバケツを用意し汚れた場合は自分で処理できるように環境を整えている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の水分・食事摂取量をチェックし、乳製品を取り入れるたり、食事やおやつの献立を工夫するほか、ラジオ体操やベランダ歩行、買い物等、運動を取り入れ便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間については特に希望がなく、毎日午後の時間帯にいつでも入浴できるよう支援している。入浴を嫌がる利用者は、その日その日のタイミングなどを見計らい声かけするなど、工夫して入浴支援をしている。		
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に休息できるようにしている。体調不良の場合は、看護師と相談し、休むよう本人に確認している。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬管理担当者を決め、誤薬事故を起こさないように管理している。処方薬の内容を把握するとともに、内容の変更時には申し送り日誌への記録を徹底している。また、健康管理表や処遇記録に症状の変化等について記録し、次回受診時に医師に報告している。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	戸締りを日課としていた方には戸締りをお願いしたり、新聞を読むことが日課であった方にはいつでも読めるように配慮するほか、希望に応じて買い物やドライブに出かけるなど支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>希望に沿ってできるだけ対応するようにしており、午前中から外出先を相談し、ドライブや外食、花見に行くなど、季節に応じた外出支援をしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分の財布から欲しい物を購入したり、お孫さんにお小遣いを渡している利用者もいる。職員の見守りで預かり金から購入するなどの支援もしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話をかけたい希望があれば、柔軟に支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日、モップ掛けや水拭きで、清潔感の維持に努め、換気や加湿で室温湿度の調節したり、大きな音、声を出さないようにし、音楽の音量調整、照明の調整等を行うなど、居心地のよい環境づくりに配慮している。また、季節の草花を飾ったり、季節ごとのディスプレイを利用者と一緒に作成し、季節を感じながら生活できるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	テレビ観賞や読書、寝ころがったり、日向ぼっこ等ができる場所を作り、自由に会話したり過ごせるように配慮している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、使い慣れたものを持って来て頂くよう家族に依頼している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	テーブルや椅子、家具は何処の家にもあるような物を置いてあり、使いやすく、また、家庭的な雰囲気を心がけている。台所やトイレ、ベランダにおいても使いやすく、分かりやすく過ごしやすいように配慮している。		

V アウトカム項目		ユニット名： ( 3丁目 )	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない